

『あっけし極みるく65』が 北のハイグレード食品2026 に選定されました！



北のハイグレード食品2026とは！？

北海道が主催する『北のハイグレード食品』は、道産食品の中から一流シェフやカリスマバイヤーなど、食の専門家が特に高く評価した商品に贈られる賞です。

今年は、造り手の知恵と工夫、手間と誇りが込められた109商品の加工食品の中から、厳選された24商品が選定されました。



今回受賞した『あっけし極みるく65』は、厚岸町内の生乳を使用し、低温でじっくり殺菌するとともに生乳本来の味わいを大切に仕上げる『ノンホモジナイズ製法』で作られた濃厚でクリーミーな牛乳です。

齋藤泰広組合長は「生産者の皆さんの日々の努力と、生乳本来の質の良さが評価され、大変うれしく思います。質の良い生乳を維持してくれている生産者の皆さんに感謝するとともに、今後も厚岸の皆さんにたくさん楽しんでいただきたいです」と話しています。



▲厚岸町立太田中学校
山口 直樹 前校長

厚岸を思う心を育む一冊ができました！

『あっけしうるわし』

厚岸町立太田中学校の山口直樹前校長が、町の歴史や自然をまとめた本『あっけしうるわし』を作成しました。

山口前校長は、令和5年4月に厚岸町立太田中学校に教頭として赴任し、その後、校長として地域とのつながりを大切にしながら学校運営を行ってきました。社会科を専門とし、地域の歴史や文化を教育現場に還元したいという思いを持っていました。

この本は、約1年をかけて多くの文献などを参考にしながら、厚岸町の歴史や風土をさまざまな視点から取り上げ、厚岸湖や厚岸湾、町内の寺院なども詳しく紹介されています。

また、『厚岸の礎となったベスト7』として、町の発展に大きく貢献した7人の人物を取り上げ、厚岸町の近代史や風土に関わる魅力を多面的な視点で掘り下げています。読者にとっては、より深く理解できる内容となっています。

山口前校長は「この本を通じて、厚岸の子どもたちをはじめ、幅広い世代に町のことを知ってもらい、たとえ町を離れても厚岸への愛着を持ち続けてほしい」と語っています。

◀この本は、本の
森厚岸情報館・海
事記念館・釧路管
内の図書館でご覧
いただけます。

